

狭畦で飼料用とうもろこしを倒れにくく 安定多収に！

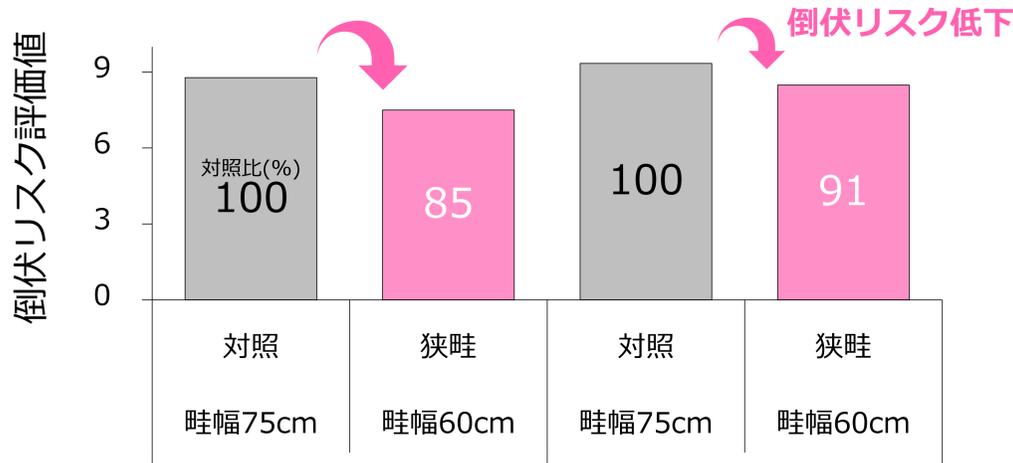
概要 Abstract

1. 狭畦栽培は倒伏リスクが低減する
2. 狭畦 × 密植栽培で安定多収

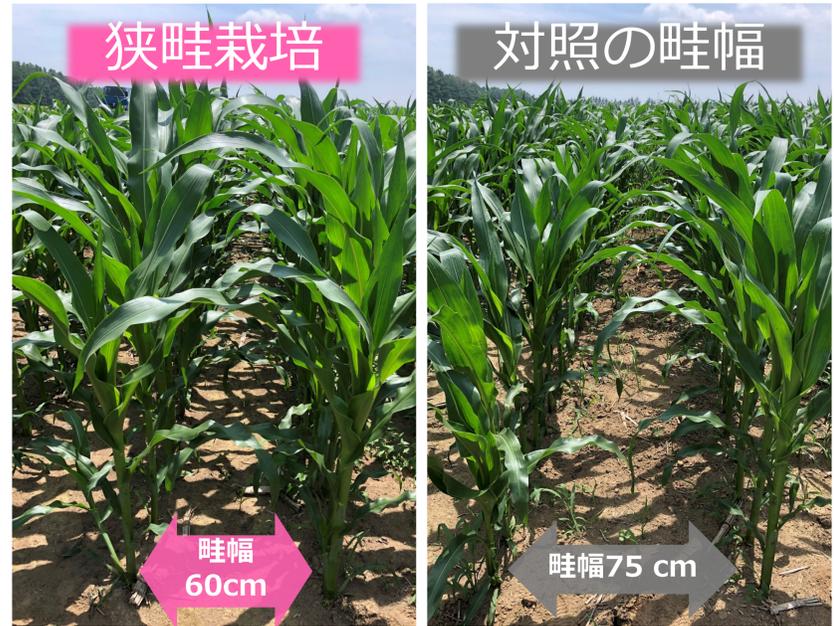
成果 Results

1. 狭畦栽培は倒伏リスクが低減する

畦幅75→60cm



狭畦栽培と倒伏リスク評価値（4品種，2か年の平均値）
倒伏リスク評価値はHPR値を示し，値が低いと倒伏リスクが低いことを示す。
RMは相対熟度（早晚性）を示す。栽植本数は7,500本/10a。



狭畦は引倒し力（根の支持力）が強い

本成果は、倒伏リスクをHPR（引倒し力法評価，濃沼ら 1998）値で評価

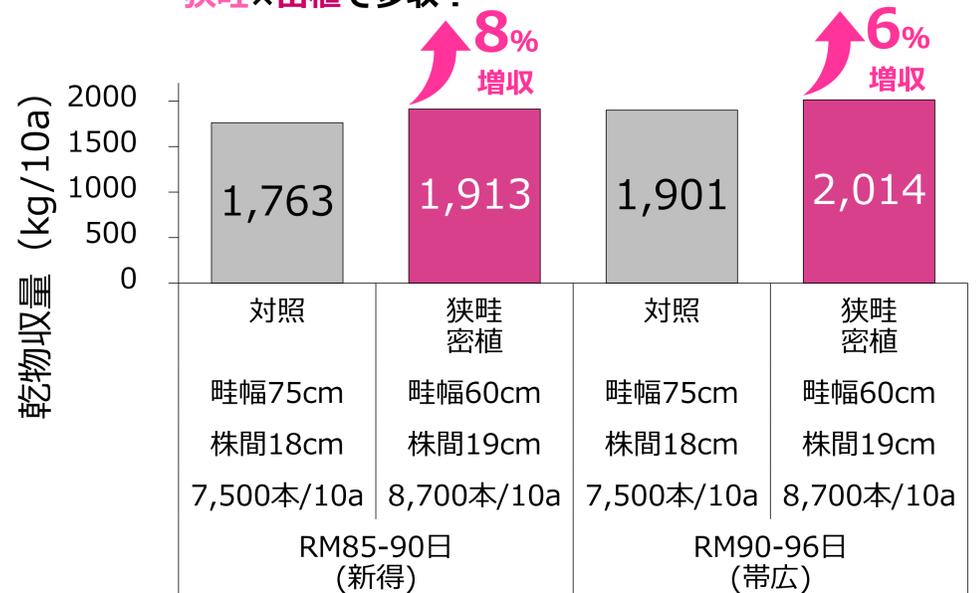
2. 狭畦 × 密植栽培で安定多収

畦幅75→60cm 7,500→8,700本/10a



狭畦×密植栽培と倒伏リスク評価値（4品種，2か年の平均値）
倒伏リスク評価値はHPR値を示し，値が低いと倒伏リスクが低いことを示す。
RMは相対熟度（早晚性）を示す。

狭畦×密植で多収！



狭畦×密植栽培と乾燥物収量（4品種，2か年の平均値）
RMは相対熟度（早晚性）を示す。

普及 Dissemination

生産現場で新たに播種機を更新・追加する際に、機種選定の参考になります。

倒伏リスクの評価には、根元から倒れる倒伏の抵抗性指標である下式のHPR値を用いました。

$$\text{HPR値} = \frac{\sqrt{\text{穂長 (cm)} \times \text{着雌穂高 (cm)}}}{\text{引倒し力 (N)}}$$

連絡先 Contact

畜産試験場 畜産研究部
飼料生産技術グループ
0156-64-5321
animal-agri@hro.or.jp